地域協働学校だより No.3

令和２年１０月１日
新宿区立市谷小学校
地域協働学校運営協議会

地域協働学校からのご報告です。 牛込警察署による1，2年生向けセーフティ教室と、開始されたクラブ活動の様子を見学させていただきましたのでご紹介させていただきます。

牛込警察署生活安全課によるセーフティ教室:「自分の身は自分で守る」

未だ暑さが残る９月１１日(金)、警視庁牛込警察署生活安全課少年係の４名の方にお越し頂き、1,2年学年別で『自分の身は自分で守る』についての授業を行って頂きました。久しぶりに見学する元気な子供たちの様子に、明るい気持ちになりました。子供たちは真剣にお話を聞き、元気良く質問に答えていました。

最初にDVDで二本のストーリーを鑑賞しました。登場する主人公は子供たちと同じ低学年の児童で、キャラクターの『ユーキィ』くんが主人公がどの場面で勇気を出すと良いのかを一緒に考えます。

１本目は、友達と公園で遊んでいたワタルくん。帰る時間になっても一人残って遊んでいるところへ、優しそうな女性から「おもちゃをあげるからおばさんの家に行こう」と言われてついていきますが、最後は大声を出して逃げる…という内容です。子供たちは少し怖そうに真剣に見ています。『ダメだよ～』手でバッテンマークをしている児童もいました。

２本目のお話の女の子は、公園にいた子犬を見に、行き先を家の人に伝えずに一人で出かけます。途中知らないおじさんに声をかけられ、行き先と目的をつい話すと、おじさんは「それはおじさんが探していた子犬だ」と言い、一緒に車で行こうと言葉巧みに誘います。この時も主人公が大きな声を出したので大人が集まって助かり、子供たちから安堵の声が漏れました。子供たちの緊張感が伝わりました。

短い2本のストーリーからでも、「帰る時間がきたら遊びたくてもみんなと一緒に帰る勇気」「知らない人には絶対について行かない！欲しいものも勇気をもって断ろう。」「出かけるときは家の人に、誰とどこへ行き何時に帰るか伝えよう(家に人がいない時は、電話やメモ書きで)」「知らない人に簡単に行き先を言わない」と大事なことが確認できました。

『たすけてー』と大声で、知らない人とは距離をとろう

この２本のストーリーで共通して大事なことは、『助けてーと大声で言い、走って逃げる』。しかしとっさの時には大人でも大声を出すのは難しいし、叫ぶ練習をするも難しい。警察官のアドバイスは、『日々の生活の中で、大きな声できちんと挨拶をすること』。日常の挨拶で意識をして声を出していると、いざという時に大きな声が出ると教わりました。

また、知らない人が話しかけて来た時は両手を広げて出来るパーソナルスペースを保つ。相手が一歩近づいて来たら一歩離れる。相手につかまれないようにするその距離感が大事と教わりました。コロナ禍でのソーシャルディスタンスを上手に使って身を守ることに繋がることには、なるほどと感心しました。

危険を感じたときに逃げ込める、コンビニや 110 番の家などの場所も自分の通学路で確認しておきましょう。

あぶないところはどこ？

公園でお友達と遊ぶときは、『人が入りやすくて見えづらいところ』、つまり『かくれんぼができるところ』は気を

つけること、公園のトイレは友達と一緒に行くこと、エレベーターに乗るときはボタンの近いところに壁に背を向けて乗っている人の顔が見られるところに立つこと（あやしい人が乗ってきたら、すべてのボタンを押して、止まったところですぐ降りる）等、大切なことは細かく何度も大人が伝える事が大切だと思いました。

また、スライドの絵を使ってクイズ形式で記憶力のテストをしました。子供たちの記憶力は素晴らしく良く、警察の方に褒めていただきましたが、この素晴らしい記憶力も、時間が経つと、不確かになってしまうので、怖いことにあったら、直ぐに警察に連絡してお話をして下さいとのことです。

『い・か・の・お・す・し』（行かない・乗らない・大声を出す・すぐ逃げる・知らせる）

１年生も2年生も、この言葉はよく知っていて大きな声で復唱していました。

限りある時間の中で、子供たちにわかり易く具体的に、そして繰り返し子供たちに『いかのおすし』を確認する授業を行って下さいました。牛込警察署生活安全課4名の職員の皆様、本当にありがとうございました。大人も楽しく授業を受ける事ができました。大人と子供が自分の身を守ることを何度も話し合う事がとても大事なのだと感じました。

子供たちの真剣に集中してお話を聞いている姿は、１年生は可愛らしく、２年生はお兄さんお姉さんに感じ、１年で随分と成長するものだと改めて感じたことも書き留めさせて頂きます。最後に、子供たちはおまわりさんから宿題を出されています。是非子供たちに聞いてみて下さい。

今年度クラブ活動開始！

徐々に通常の活動が戻りつつある中、９月１４日から今年度のクラブ活動も始まりました。4,5,6年生が縦割りで１１のクラブの中の好きな活動に参加できる時間とあって、それぞれが楽しそうに熱心に取り組んでいました。

もくもくと自分の手芸作品に取り掛かるホームクラブの児童、上級生に教えてもらいながら顕微鏡をのぞき込む科学クラブの児童、一人１台のパソコンを前にタイピングの練習をするパソコンクラブの児童たちの様子は、まるで小学校ではないようでした。茶道クラブでは、手洗い・マスク・話をしないなどコロナ感染防止に気を付けていました。パフォーマンス部は、練習は少人数で、ビデオ録画で発表を計画、など様々な方策を考えていました。

運動系のクラブでは体育館や校庭で元気に体を動かしていました。校庭球技クラブでは6年生がリーダーとなって指示を出したり、ルールをみんなで話し合って決めたりと、自主的に活動する様子もみられました。

自粛・中止される活動も多い毎日ですが、興味のある活動を学校の友達とできる貴重な機会がもてるのは、うれしいことです。ご尽力くださる先生方、指導者の方々に感謝いたします。